

JT-I220
基本テレコミュニケーション
の共通動的記述

[Common Dynamic Description of Basic Telecommunication Services]

第1版

1989年4月28日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、
転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

<参考>

1. 国際勧告等との関連

本標準は、1988年CCITT総会において承認された勧告I.220に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1 オプション選択項目

なし

2.2 ナショナルマター項目

なし

2.3 上記国際勧告より削除した項目

なし

3. 改版の履歴

版数	発行日	改版内容
第1版	平成元年4月28日	制定

4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページでご覧になれます。

目 次

1. 概 要	1
2. 回線モードベアラ及びテレサービスの動的記述	2

1. 概要

本標準は基本テレコミュニケーションサービスの動的記述について記述している。

サービスの確立／解放の方法に回線モードを用いた基本テレコミュニケーションサービスの動的記述を2章で述べる。パケットモードの記述は今後の検討課題である。

動的記述はイベントの流れとサービスの各状態を時系列で表現し、エンドユーザに認識される関連サービスの全ての可能な動作を規定する。

サービスがエンドユーザの視点で記述されるにしても、その詳細がマンマシンインタフェース自体に関連しているのではない。さらに、サービス記述は、網を一つものとして記述している。例えば、網内のノード間の情報の流れは記述されない。

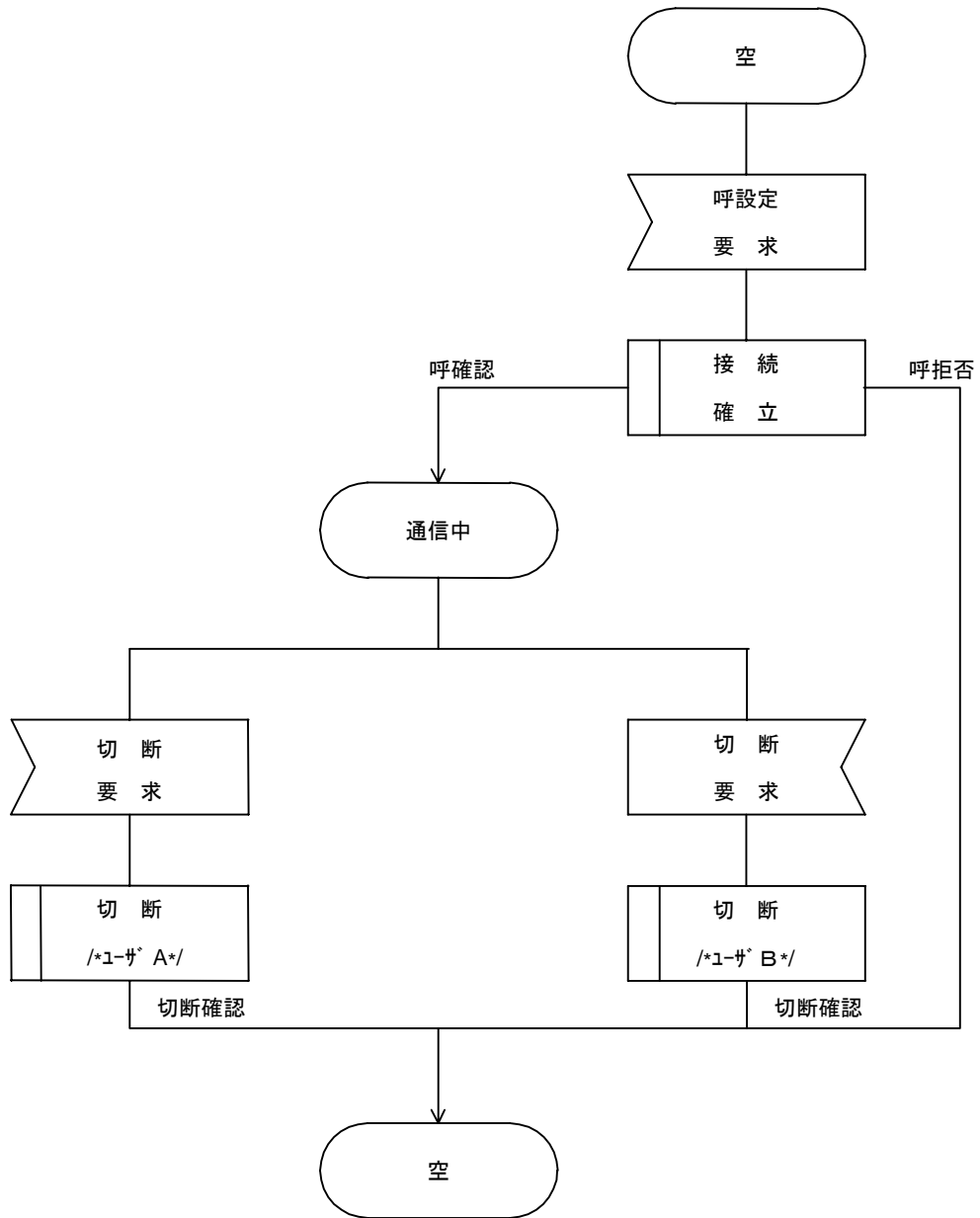
エンドユーザに対するサービスの視点は、“ユーザ／網”相互作用という言葉で表現される。網内の動作はエンドユーザへのサービス提供中に、ユーザ／網インタフェースにあらわれるイベント毎にSD L記述則で記述される。

特殊な用語および“ユーザ／網”相互作用は付録Aで提供される。SD Lシンボルとその使い方の様な動的記述の詳しい表現方法は、TTC標準JT-I 210でより詳細に述べられる。

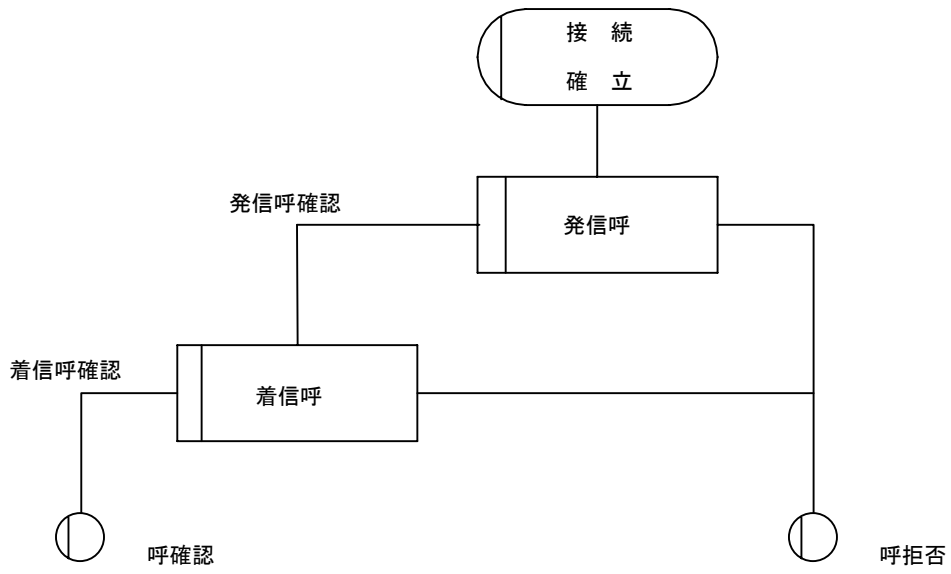
注．回線モードの動的記述については、ベアラサービスとして—音声、3.1kHz オーディオ、非制限デジタル、そして、テレサービスは—電話、テレテックス、テレファックス4、ミックスモードとビデオテックスが考慮されているが、ほかの項目については、今後の課題である。

2. 回線モードベアラ及びテレサービスの動的記述

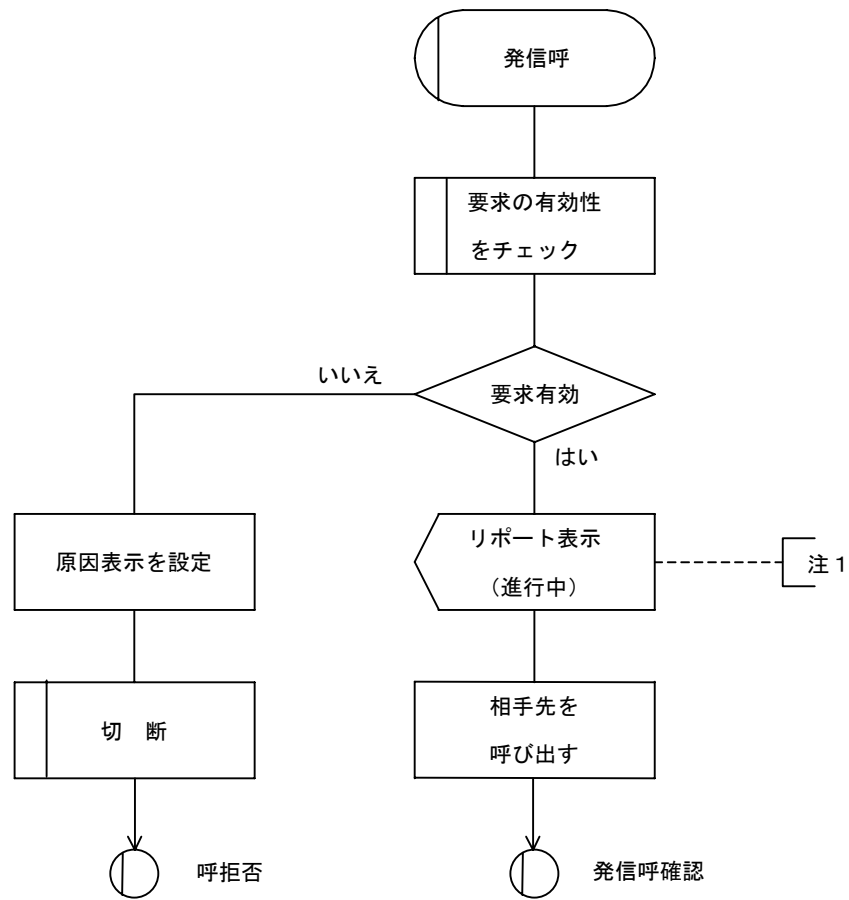
(基本呼手順)



(基本交換手順
接続確立のマクロ定義)

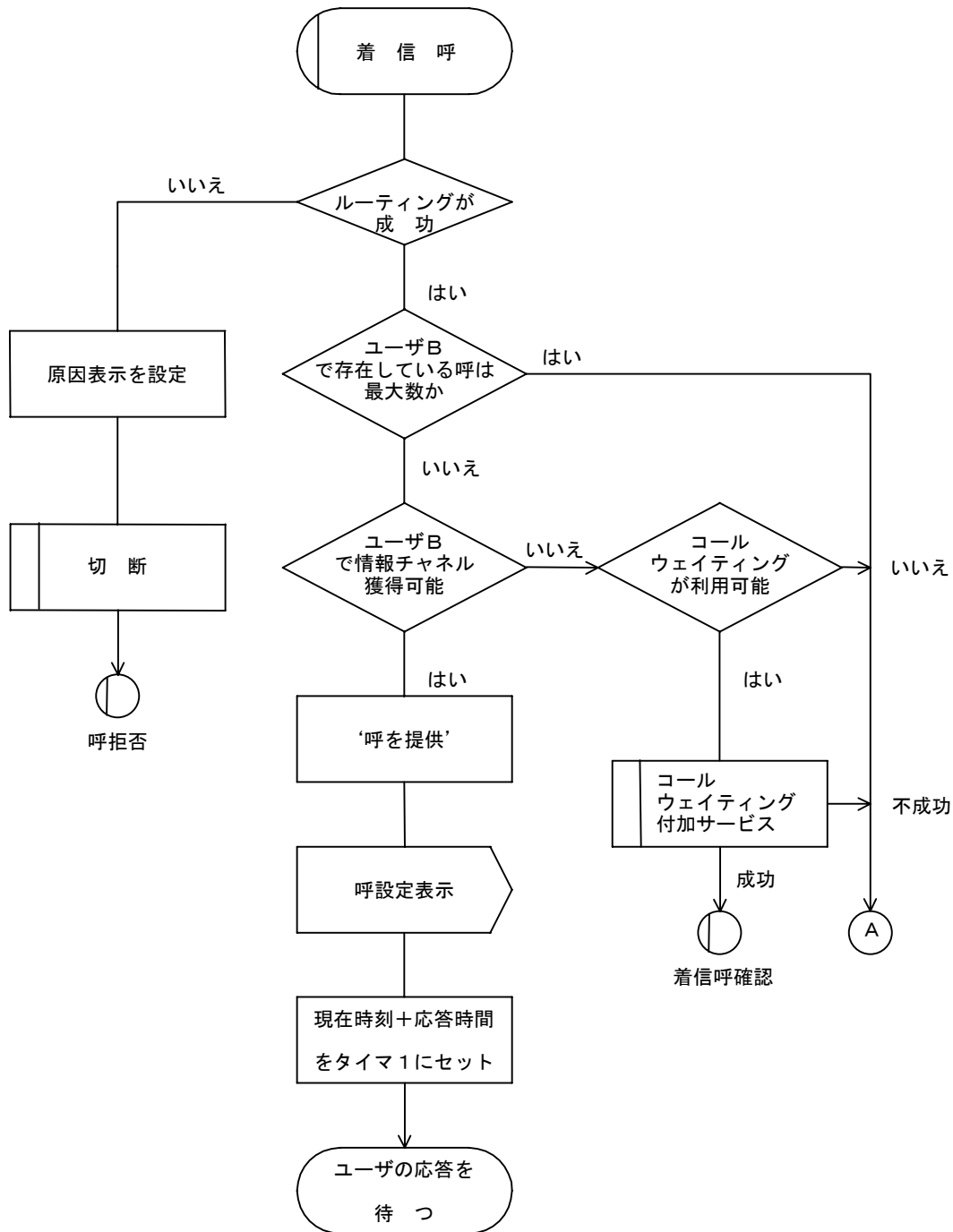


(基本交換
発信呼のマクロ定義)



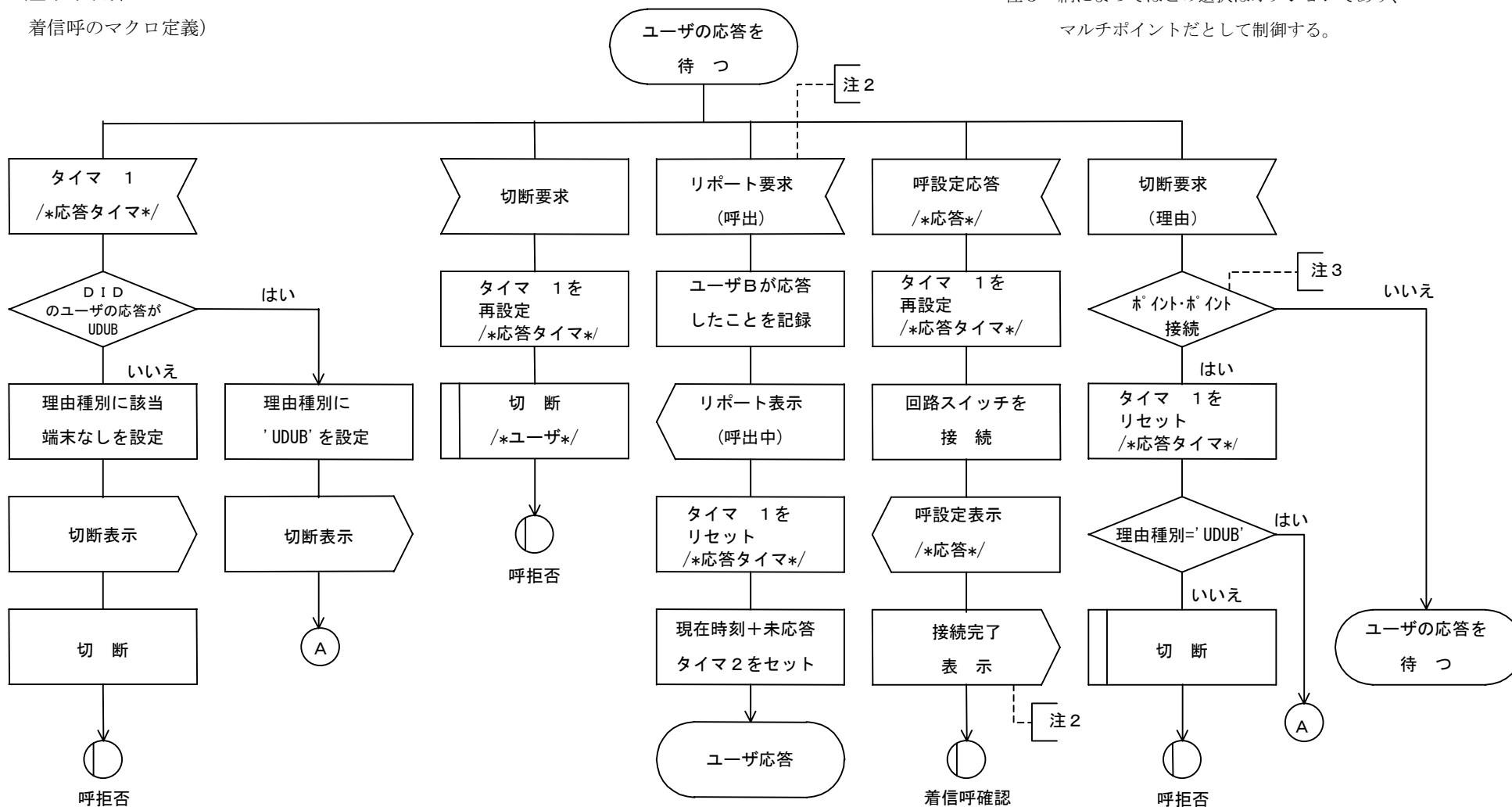
注1—このイベントは、S/T参照インタフェース点で発生しうるイベントでありユーザインタフェースで折り返される。

(基本交換手順
着信呼のマクロ定義)

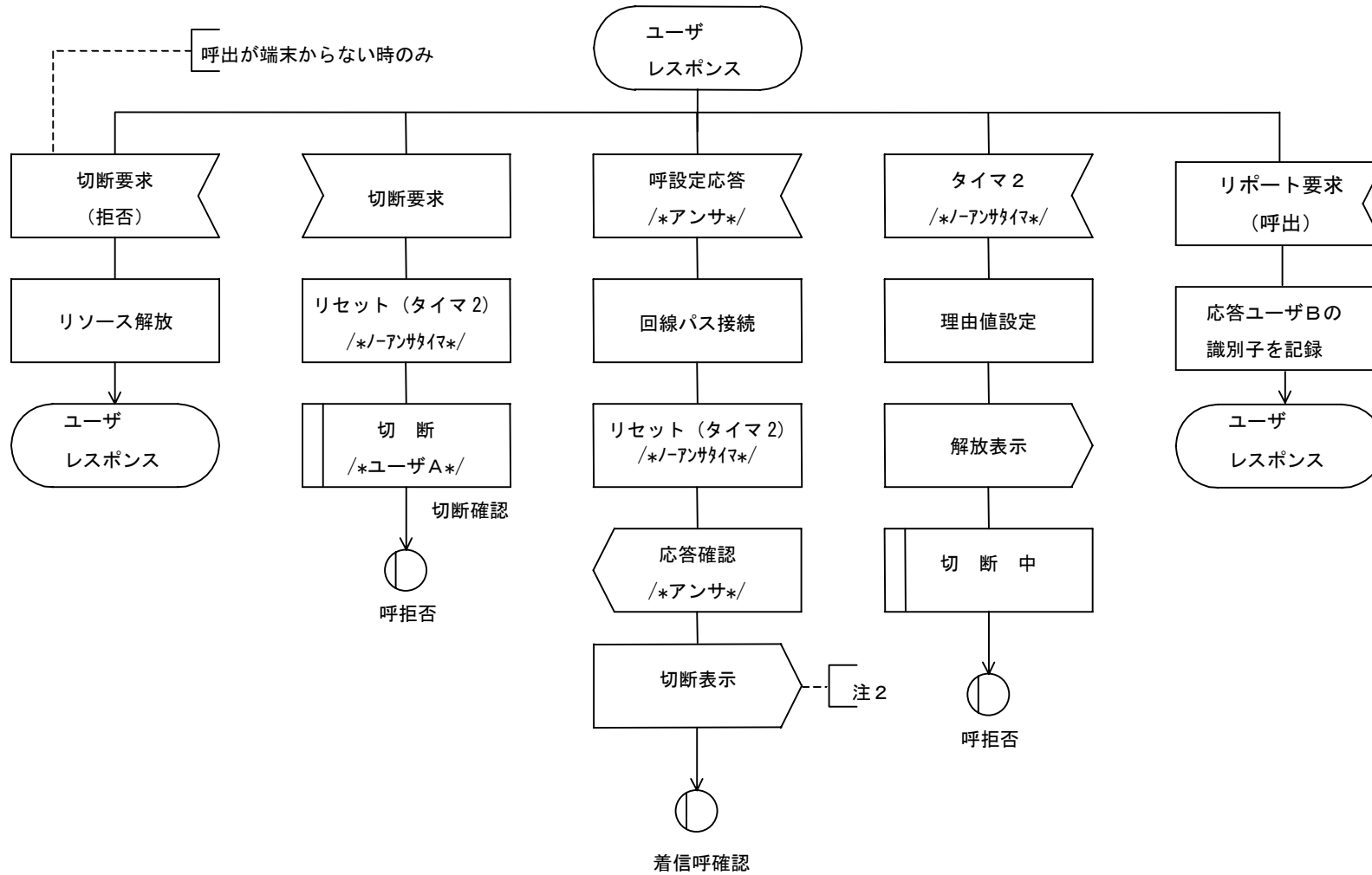


(基本呼手順
着信呼のマクロ定義)

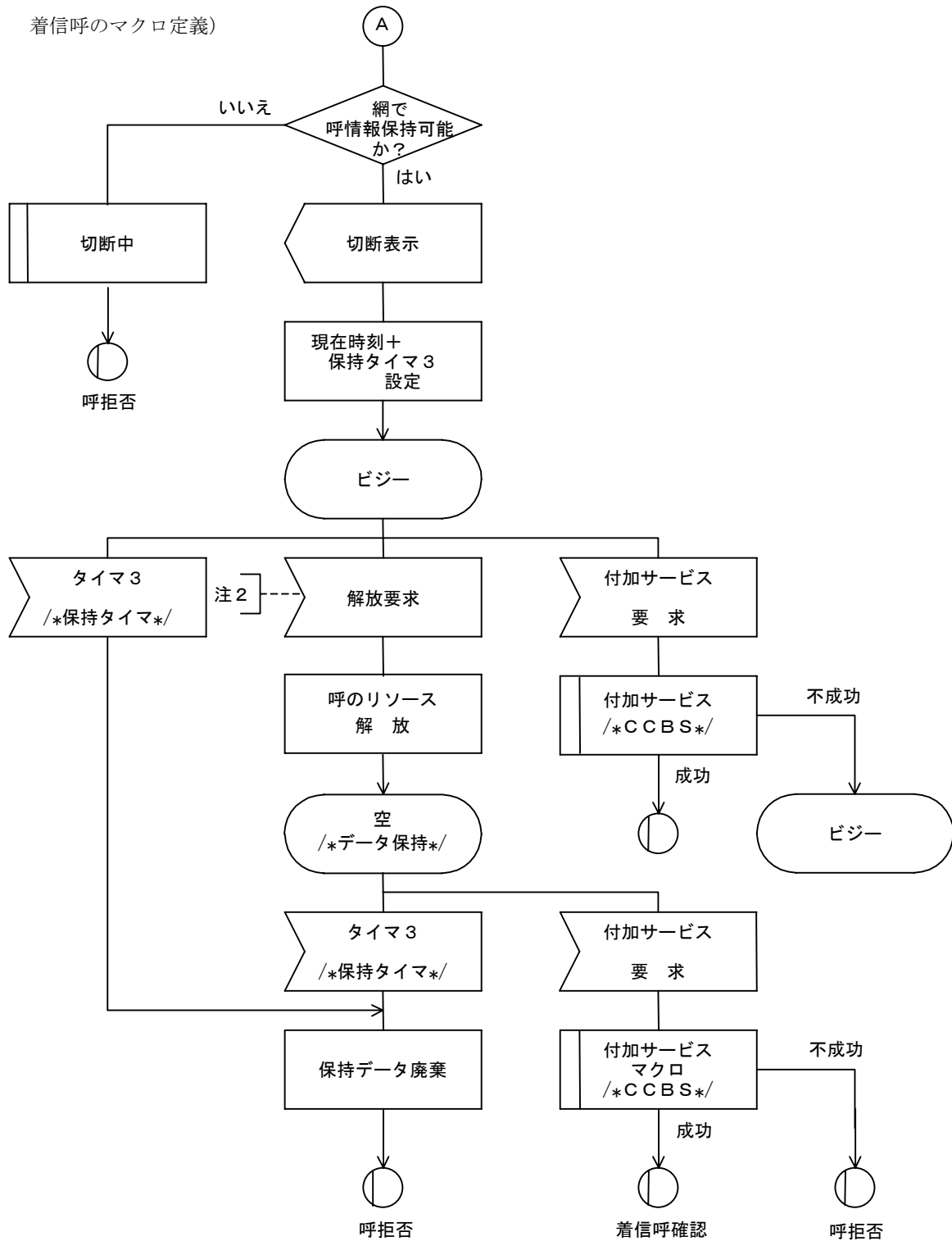
注3一網によってはこの選択はオプションであり、
マルチポイントだとして制御する。



(基本呼手順
着信呼のマクロ定義)

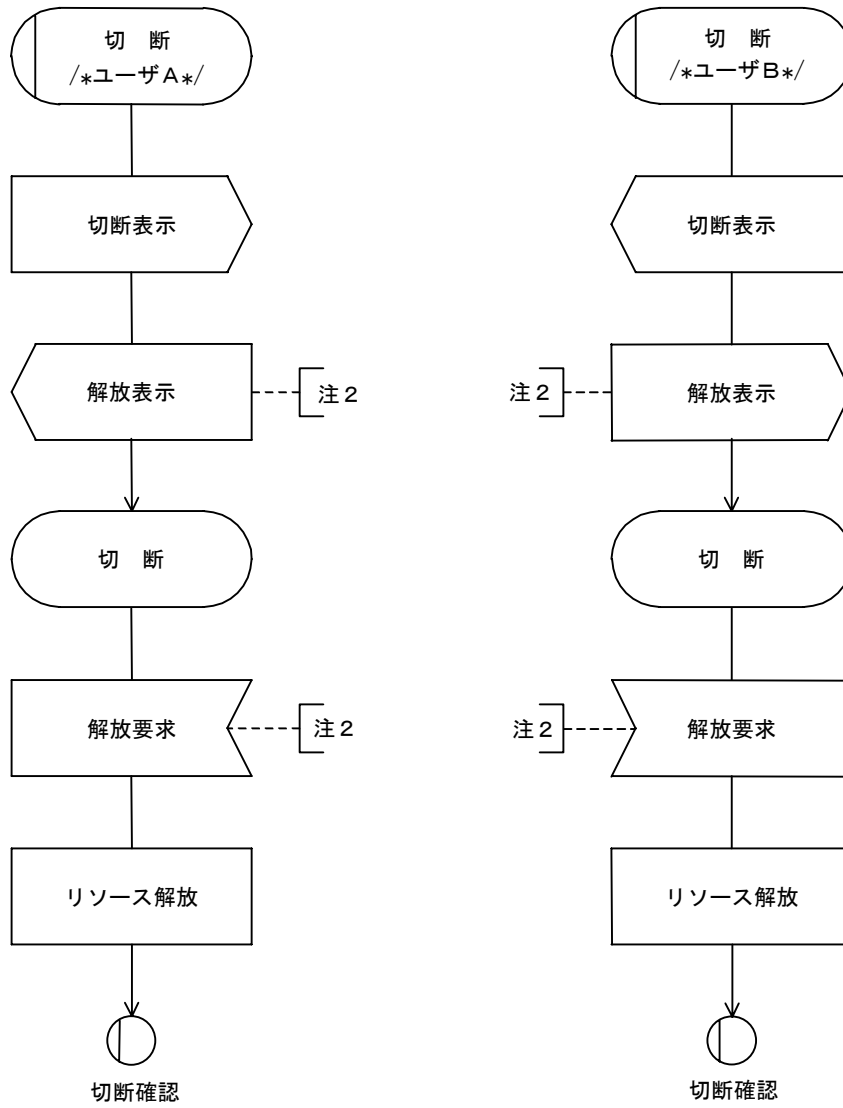


(基本呼手順
着信呼のマクロ定義)

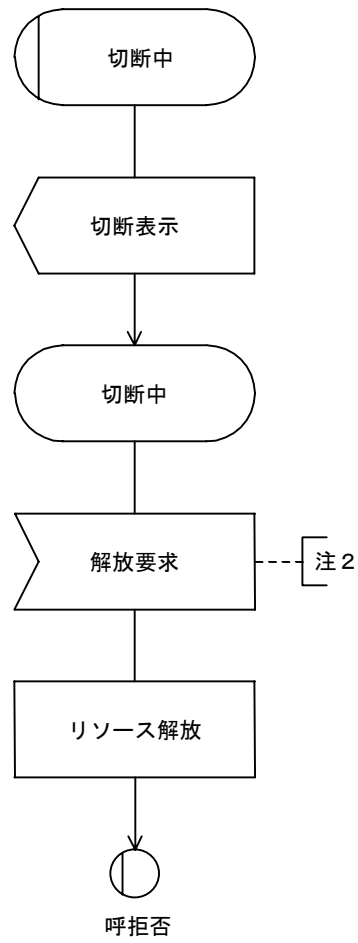


(基本呼手順)

切断/*ユーザA*/，切断/*ユーザB*/のマクロ定義



(基本呼手順
切断中マクロ定義)



注2 本イベントはS/T参照点で発生しうるが、ユーザインタフェースには影響しない。

付属資料A：ユーザ・ネットワークの相互動作に関する用語
(TTC標準JT-I220に対する)

- 呼設定 サービス要求に関するユーザ・ネットワークインタフェースを介しての相互動作
- レポート ユーザ端末の機能の呼び出し、非ISDN網接続またはルーチングプロセスに関するユーザ・ネットワークインタフェースを介しての相互動作
- 接 続 回線接続の完了に関するユーザ・ネットワークインタフェースを介しての相互動作
- 切 断 切断したユーザまたはユーザBと接続できない(例えばビジー)ユーザBに関するユーザ・ネットワークインタフェースを介しての相互動作
- 解 放 呼番号あるいはチャネルのような呼/コネクションに係るリソースの解放に関するユーザ・ネットワークインタフェースを介しての相互動作
- NDUB 網で決定されるユーザビジー
- UDUB ユーザで決定されるユーザビジー